

平成17年3月期
決算説明資料

平成17年5月27日

 川重冷熱工業株式会社

平成17年3月期 決算概要

今期の売上は、機器部門は前期比減、改修改造・メンテナンス部門は前期比増となりました。経常利益については資材費等の高騰が利益を圧迫しておりますが、コストダウンおよび諸経費の圧縮に努め、経常利益は前年とほぼ同様となりました。また、当期純利益は経常利益の増およびIT投資促進税制による税額控除等により公表値を上回る結果となりました。

平成17年3月 損益計算書



金額単位:百万円

	当 期	前 期	前 期 比	備 考
売 上	17,299	17,205	100.5%	ボイラ機器と空調改修改造工事・メンテナンスが減少したが、空調機器、ボイラ改修改造工事・メンテナンスが増加し、落込み分を補った。
売上総利益	4,466	4,341	102.9%	改修改造工事・メンテナンスの利益が好転
販売費及び一般管理費	3,937	3,831	102.8%	外形標準課税等諸費用の増加による
営業利益	528	509	103.7%	
営業外収益	17	19	89.5%	
営業外費用	37	24	154.2%	
経常利益	509	503	101.2%	
特別利益	—	—		
特別損失	207	205	101.0%	内205は、退職給付会計基準変更時差異償却
税引前当期純利益	301	298	101.0%	
法人税、住民税及び事業税	229	132	173.5%	
法人税等調整額	53	58	-91.4%	
当期純利益	126	108	116.7%	
前期繰越利益	289	282	102.5%	
当期未処分利益	416	390	106.7%	

平成17年3月 貸借対照表



資 産

金額単位:百万円

	当 期	前 期	前 期 比	備 考
流動資産	8,806	9,549	92.2%	
現金及び預金	55	333	16.5%	川崎重工業㈱グループファイナンス導入による余剰資金圧縮の影響
受取手形・売掛金	6,702	7,307	91.7%	売上債権回収増による減少
棚卸資産	1,729	1,618	106.9%	
繰延税金資産	257	230	111.7%	
その他流動資産	61	59	103.4%	
固定資産	3,683	3,648	101.0%	
有形・無形固定資産	2,189	2,188	100.0%	
長期繰延税金資産	1,215	1,189	102.2%	
投資その他の資産	279	269	103.7%	
資 産 合 計	12,489	13,198	94.6%	

平成17年3月 貸借対照表



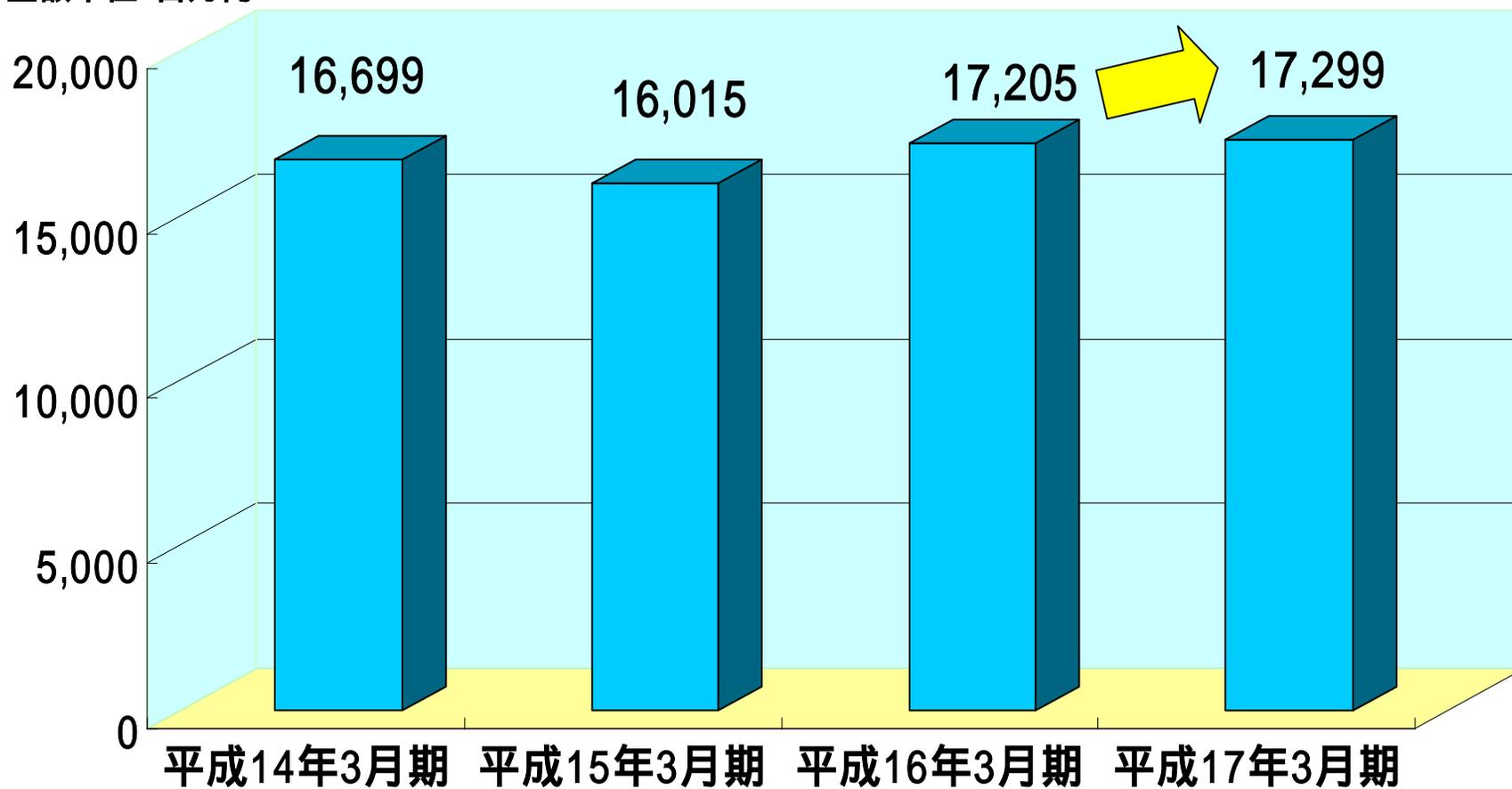
負債・資本

金額単位:百万円

	当 期	前 期	前 期 比	備 考
流動負債	5,521	6,245	88.4%	
支払手形・買掛金	4,498	4,412	101.9%	原材料等の仕入債務増加
短期借入金	0	890	0.0%	売上債権の回収増および当期より導入した川崎重工業㈱グループファイナンス運用による余剰資金圧縮
前受金	47	54	87.0%	
設備、支払手形・未払金	43	106	40.6%	
その他の流動負債	931	781	119.2%	未払法人税等の増加
固定負債	3,087	3,097	99.7%	
退職給付引当金	2,974	2,999	99.2%	
その他固定負債	113	97	116.5%	
負債合計	8,609	9,342	92.2%	
資本金	1,460	1,460	100.0%	
資本剰余金	1,228	1,228	100.0%	
利益剰余金	1,185	1,159	102.2%	
(内、当期純利益)	(126)	(108)	116.7%	
株式等評価差額金	14	11	127.3%	
自己株式	7	4	175.0%	
資本合計	3,880	3,855	100.6%	
負債・資本合計	12,489	13,198	94.6%	

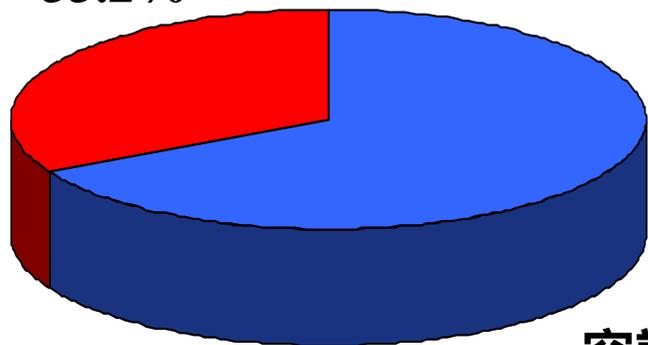
売上の推移

金額単位：百万円



売上構成比の比較

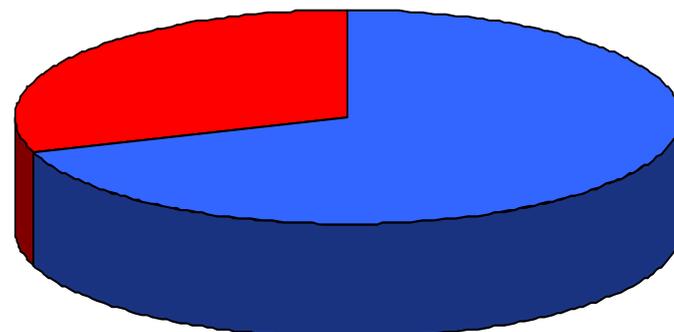
ボイラ事業
33.2%



平成16年3月期

空調事業
66.8%

ボイラ事業
31.9%



平成17年3月期

空調事業
68.1%

要因分析

空調事業は機器が増加し、改修改造工事・メンテナンスは微減。
ボイラ事業は機器が減少し、改修改造工事・メンテナンスが増加。
空調事業の改修改造工事・メンテナンスの減少よりもボイラ事業の機器の減少が多いことにより構成比が変動いたしました。

空調事業

主力機種の「シグマエース」の受注が順調に増加したことで、機器の売上が増加いたしました。

改修改造工事・メンテナンスは減少いたしました。

ボイラ事業

受注残高が少なかったことにより、排熱ボイラ、水管ボイラを中心に減少し、機器の売上が減少いたしました。

改修改造工事・メンテナンスは増加いたしました。

平成18年3月期 業績予想

平成18年3月期の業績予想

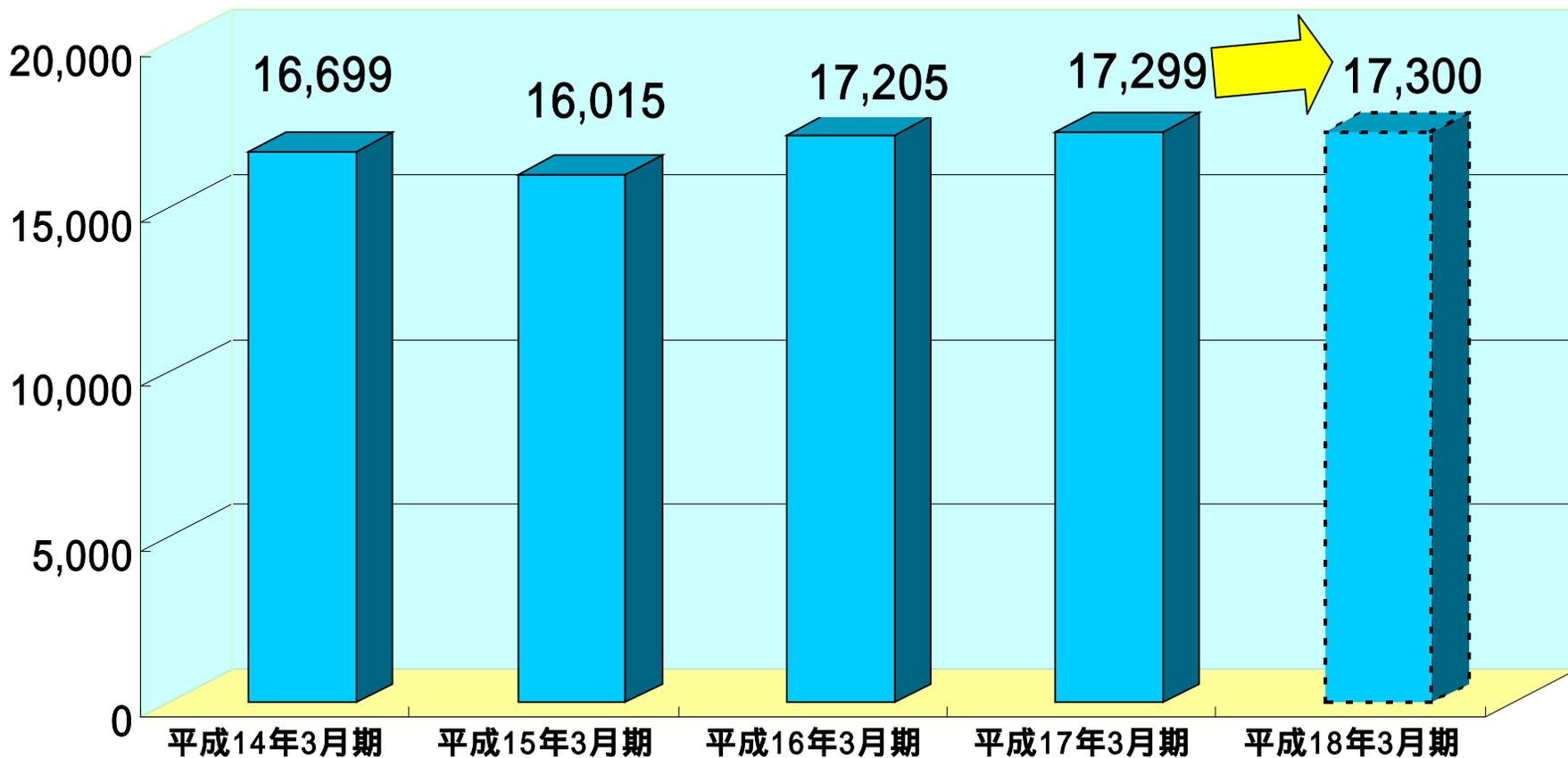


金額単位:百万円

	当 期	来期(予)	前 期 比	備 考
売 上	17,299	17,300	100.0%	
空調事業	11,786	11,500	97.6%	
ボイラ事業	5,513	5,800	105.2%	
経常利益	509	350	68.8%	機器の拡販費用、中国進出関連費用を計上
当期純利益	126	140	111.1%	

売上の推移(予想)

金額単位:百万円



空調事業

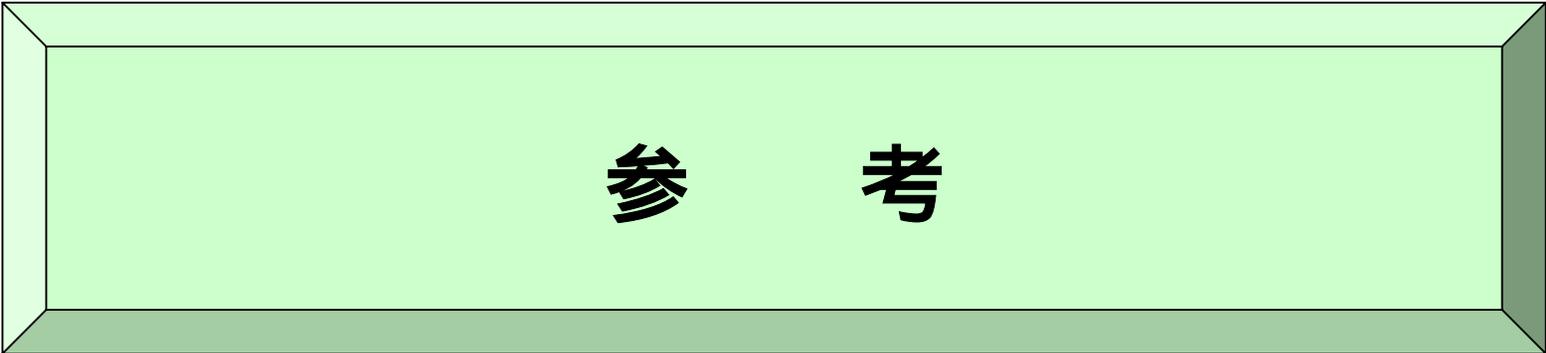
吸収冷温水機の大型容量域の「シグマエース」、新規市場投入をした中型容量域の「シグマミディ」を中心にリプレース需要を確保いたします。

電話回線を使ったメンテナンスシステムの「テレメンテ」の普及およびサービスメニューの充実を図り、改修改造工事・メンテナンスの拡大を図ります。

ボイラ事業

大型貫流ボイラ「イフリート」の制御性の特長、省エネルギー性を活かして受注拡大に注力いたします。

電話回線を使ったメンテナンスシステムの「テレメンテ」の普及および省エネルギー改造を中心としたサービスメニューの充実を図り、改修改造工事・メンテナンスの拡大を図ります。



参 考

当社は、設計・製造、販売、サービスの一貫体制のもと、製品、サービスの付加価値を高め、顧客第一主義を掲げ、提案型営業に努め業容拡大を図って行くと共に、財務体質の改善・強化、業務の効率化、顧客管理システムの確立、生産体制の合理化、コストおよび固定費の削減に努め、経営基盤の一層の強化を図ってまいりたい所存です。

当社の関連する空調業界では、省エネルギーおよび余剰エネルギーを有効利用する機器の開発が進展していくものと思われます。また、市場競争の激化により販売価格が低下傾向にあります。

ボイラ業界では、貫流ボイラを中心とした市場構造には変化がないと思われます。各社が市場投入した貫流ボイラで小型ボイラとして最大容量の2500kg/hの蒸発量タイプの需要が活発化してくると予想されます。

中国における合弁会社設立



当社は、中国の空調設備大手である清華同方人工環境有限公司（以下、清華環境）と吸収冷温水機・冷凍機の製造・販売・サービスに関する合弁会社「同方川崎空調設備有限公司」を、本年5月16日に設立いたしました。この合弁先の清華環境は、清華大学が起業した企業集団（清華同方グループ）の一員として、電気式空調設備業界で急速に成長・拡大している企業です。

中国では、急速な経済発展に伴う建設ラッシュを背景に、空調設備需要も拡大しており、その中でも省エネ性能に優れている吸収冷温水機・冷凍機市場は、既に日本を凌駕する規模に成長し、今後も継続拡大が見込まれています。

この合弁会社では、こうした中国における旺盛な吸収冷温水機・冷凍機需要に対し、中国市場で販売されている既存機種より、性能および機能で優る当社最新製品「シグマエースシリーズ」を中国の廊坊市にて生産し、中国の吸収冷温水機・冷凍機市場に投入いたします。そして早期に「同方川崎」をトップブランドに育成し、中国における吸収冷温水機・冷凍機業界における製販一体のトップ企業に成長することを目指します。

出資比率 川重冷熱工業株式会社 50%、清華同方人工環境有限公司 50%
登録資本金 8000万人民元（約10.4億円） **売上見込** 2008年度 20億円程度

本資料に関する問合せ先



企画室 経営管理部
TEL 077-563-1111

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。